

## 参考資料 2 市町村による被災者支援に関する取組内容

市町村が被災者支援のために実施した主な事業一覧をまとめました。  
今回、全52事業を紹介します。

- 1 栄養・食生活 (事業番号1～11)
- 2 運動 (事業番号12～21)
- 3 健康相談 (事業番号22～26)
- 4 心のケア (事業番号27～41)
- 5 コミュニティ (事業番号42～45)
- 6 高齢者 (事業番号46)
- 7 見守り (事業番号47～48)
- 8 その他 (事業番号49～52)

## 1

## 栄養・食生活

## 【取組事業1】

事業主体: 亶理町・亶理町食生活改善推進員協議会

事業名	事業名:おいしい輪 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	「元気を生み, 元気を移し合う」をスローガンに料理教室を開催し, 被災者への食情報の提供の場, 交流の場となることを目的とした。
事業概要	仮設住宅住民の食生活状況やニーズについての情報集を収集し, 仮設住宅集会所における料理教室を中心とした食情報の提供とコミュニケーション作りとした。災害公営住宅転居後は地域住民との交流事業とし, 地区公民館で実施した。
実施年度	平成23年度 ~ 令和2年度
対象者	仮設住宅入居者・災害公営住宅入居者・地域住民
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input checked="" type="radio"/> )関係団体( 亶理町食生活推進員協議会 )
工夫したところ	食生活改善推進員協議会員が中心となり, 宮城学院女子大学及び味の素グループの協力を得て, 被災者のニーズをくみ取りながら実施した。
事業の効果	食は気持ちを前向きにし, 郷土料理「はらこめし」づくりは被災者の交流の場となっていた。年々参加人数が増えていった。
事業を終了した理由	10年を区切りとし, 被災者中心から地域全体へ, 食の発信と交流を目的とする本来の食生活推進員協議会の活動へ移行したため。

【取組事業2】

事業主体:山元町

事業名	事業名:簡単クッキング教室 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	食を通じた健康増進, コミュニティ形成支援
事業概要	応急仮設住宅等での食生活の悪化等を予防し, 栄養バランスの取れた食生活を推進するため, 料理教室を実施する。また, 取組を通して地域住民のコミュニティ等の形成を行い, 孤立を防ぐ。
実施年度	平成23年度 ~ 令和2年度
対象者	応急仮設住宅入居者・災害公営住宅入居者・新市街地居住者
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="radio"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体(食生活改善推進員, 区長, 民生委員 )
工夫したところ	民生委員や区長等から対象者に声をかけてもらい, 地区や住宅内での交流につながった。また, 参加者に食生活改善推進員養成講座受講を促し受講した方で会員となり, 活動する場へつないだ。
事業の効果	応急仮設時の参加者が違う災害公営住宅に移動後も, この事業がきっかけで交流が継続している。参加者が声がけし, 孤立している人の外出を促し, 居住区でのコミュニティ作りにつながった。料理教室では, 減塩の調味料や野菜をたくさん使ったメニューを作り, 栄養バランスの取れた食事の話題や会話を通し, 個人意識向上が図れた。
事業を終了した理由	新型コロナウイルス感染症により, 対面での実習・飲食等ができなくなり中止。

【取組事業3】

事業主体:南三陸町

事業名	事業名:健康な食を通した絆づくり事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	食を通した健康づくりの啓発とコミュニティ形成支援
事業概要	仮設住宅や災害復興住宅等の集会所における栄養教室
実施年度	平成23年度 ~ 令和2年度
対象者	仮設住宅や災害復興住宅入居者等
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体 ( 食生活改善推進員, 生活支援員, 公益財団法人味の素ファンデーション )
工夫したところ	普段, 集まることの少ない男性だけを対象とした教室も行った。周知の際には, 生活支援員に気になる人や声がけしないとなかなか出てこないような人に個別に声がけをもらった。
事業の効果	健康的な食事について, 意識するきっかけとなった。他者とのコミュニケーションの場となった。
事業を終了した理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため, 実施することが難しくなった。

【取組事業4】

事業主体:南三陸町

事業名	事業名:食生活力形成事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	食を通じた健康づくりの啓発とコミュニティ形成支援
事業概要	「3・1・2弁当法」をベースとした「こころ・からだ・地域や環境にぴったりあった食事づくり」をテーマとした、仮設住宅や災害復興住宅等の集会所における栄養教室
実施年度	平成23年度 ～ 令和2年度
対象者	仮設住宅や災害復興住宅入居者、生活支援員等
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体 ( 食生活改善推進員、NPO 法人食生態学実践フォーラム、NPO 法人ハッピー大崎 )
工夫したところ	教室従事者の研修を行った。南三陸町バージョンのテキストを作成した。
事業の効果	健康的な食事について、意識するきっかけとなった。他者とのコミュニケーションの場となった。
事業を終了した理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施することが難しくなった。

【取組事業5】

事業主体:女川町

事業名	事業名:食生活支援事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	女川町応急仮設住宅で、調理意欲の回復及び震災による食生活の改善を目的とする。
事業概要	(1) 調理実習・試食(試食のみ可) ・簡単で栄養バランスのよい料理の紹介 (2) 講話 ・栄養バランスのよい食事の大切さ ・生活習慣病予防(健診受診勧奨含む) (3) 個別栄養相談 (4) アンケート
実施年度	平成23年度 ～ 平成29年度
対象者	仮設住宅に居住する人
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 仙台白百合女子大学, 味の素(株) )
工夫したところ	食生活支援にとどまらず、それぞれの生活を尊重しながら、コミュニティづくりにつながるようにしている。
事業の効果	仮設住宅での慣れない生活の中で、工夫して栄養をとる方法等住民が学習することができた。
事業を終了した理由	災害公営住宅や自立再建など、終の棲家に大半の住民が落ち着いたため。

## 【取組事業6】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:仮設住宅栄養相談会(市直営・県委託事業) ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	平成23年度はコミュニティづくりを中心に生活不活発病予防・閉じこもり予防を兼ねて実施し,平成24年度以降は生活習慣病予防を中心に栄養・食生活支援実施。
事業概要	仮設住宅の集会所等にて栄養士による健康講話,調理実習及び試食,運動指導,個別健康相談,個別栄養相談,BDHQ 調査を実施。併せて参加者同士のコミュニティづくりと居住者の食生活改善を支援した。
実施年度	平成23年度 ~ 平成27年度
対象者	仮設住宅入居者
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( ◎ )栄養・食生活 ( ○ )運動 ( ○ )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( ○ )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( ○ )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( ○ )関係団体(食生活改善推進員,関係事業所:健生 KK,ハッピート大崎 )
工夫したところ	栄養講話と調理・試食を取り入れて参加者同士のコミュニティづくりを併せて実施した。
事業の効果	震災当初は30か所以上の仮設住宅でコミュニティづくりを兼ねた健康づくり,また市の計画に沿った生活習慣病予防を実施することができた。
事業を終了した理由	平成27年度までは,宮城県被災者健康支援事業を活用し,平成28年度以降は,生活習慣改善事業に包含した。

【取組事業7】

事業主体:東松島市

事業名	事業名:健康・栄養相談会(食生活支援事業・リハビリテーション支援事業・絆づくり事業を活用) ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	食をとおした健康づくりの啓発,コミュニティ形成支援
事業概要	仮設住宅入居者の健康維持と慢性疾患等の悪化防止のため,食を切り口に健康に関する情報を提供し,心身の健康状態悪化を防ぐ。
実施年度	平成23年度 ~ 平成29年度
対象者	応急仮設住宅入居者・災害公営住宅入居者等
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( ◎ )栄養・食生活 ( ○ )運動 ( ○ )健康相談 ( )心のケア ( ○ )コミュニティ ( )高齢者 ( )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( ○ )県保健所 ( )地域包括支援センター ( ○ )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( ○ )関係団体( 健生株式会社,食生活改善推進員,保健推進員,被災者サポートセンター)
工夫したところ	交流をとおして,心身の健康の維持増進が図れるよう,栄養・運動についての講話・実技,レクリエーションや調理実習などを取り入れた形で実施した。 自主グループ化にむけて支援を実施した。
事業の効果	相談会をとおして,災害公営住宅入居者が地区の方と話すきっかけや交流の場の提供ができた。 1団体自主グループ化できた。
事業を終了した理由	仮設住宅入居者の災害公営住宅への移転が完了したことにより,災害公営住宅の二一ズなどを鑑みて,従来の地区健康教室の形で実施することとしたため。



【取組事業8】

事業主体:塩竈市

事業名	事業名:(食生活支援)健康な食事とおした絆づくり事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	食とおした健康づくりの啓発, コミュニティ形成支援
事業概要	応急仮設住宅等での食生活の悪化等を予防し, 栄養バランスの取れた食生活を推進するため, 栄養相談会や個別相談等を実施する。また, 取組とおして地域住民のコミュニティ等の形成を行う。
実施年度	平成23年度 ~ 平成29年度
対象者	プレハブ仮設, 災害公営住宅入居者
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( ◎ )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 食生活改善推進員, 健康推進員 )
工夫したところ	試食や食事作りの工夫とおし, 楽しみながら実践している様子が伺えた。健康推進員から対象者に声をかけてもらい, 事業にも一緒に参加してもらい, 地区や住宅内での交流につなげた。
事業の効果	料理教室の集まりでは, 減塩の調味料や野菜をたくさん使ったメニューを作るようにしており, 栄養バランスの取れた食生活を見直す機会となっている。
事業を終了した理由	通常事業(食を通した健康づくり事業)で対応するため。

【取組事業9】

事業主体: 気仙沼市

事業名	事業名: さわやか健康教室 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	入居者同士の交流と、生活不活発病や生活習慣病の重症化予防、健康の維持増進を図るため健康教室を開催する。
事業概要	生活習慣病等の講話と運動、栄養指導等を行う。
実施年度	平成25年度 ～ 令和元年度
対象者	応急仮設住宅入居者
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input checked="" type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="radio"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 県看護協会 <input type="checkbox"/> )
工夫したところ	日頃、応急仮設住宅入居者の見守り等を行っているサポートセンター等の協力・声かけにより周知を図った。教室の中では、実際に交流とバランスの取れた食事の実際が確認できるよう、調理実習等取り入れるなど自分の生活につながるような内容を意識した。また、集団の場では相談できない悩みや健康に関する個別の相談の機会も設けた。
事業の効果	被災による孤立、ひきこもりがちな方、社会活動が低下した高齢者等の活動・交流の場となり、その後の交流の継続につながった。また集団講話や調理実習を通して、自分自身の生活習慣の改善のきっかけづくりとなった。
事業を終了した理由	令和元年に、仮設住宅入居者が災害公営住宅へ移動し、令和2年にはプレハブ仮設が解体されることを踏まえ、令和元年度に終了とした。

【取組事業10】

事業主体:岩沼市

事業名	事業名:ココ(心)から(体)ごはん ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	健康調査・生活調査(平成24年度実施)から把握した被災者の抱える食事・栄養面の問題・課題を解決するとともに、被災者の食事づくり離れを防ぎ、健康増進を図る。
事業概要	調理実習(パッククッキング・ヘルシーアレンジ法など)、管理栄養士の講話、健康体操、保健師の健康講話
実施年度	平成 25 年度 ～ 平成 26 年度 (全5回)
対象者	プレハブ仮設住宅入居者, 民間賃貸住宅入居者
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 岩沼市復興支援センタースマイル )
工夫したところ	市民サポーター(食生活改善推進員, 健康づくり運動普及リーダー)の協力を得ながら実施し, 利用者同士の交流を図った。教室に参加しない場合も, 「ココからごはんニュース」を配布した(全5回)。
事業の効果	調理実習で紹介した仮設住宅の台所でも電子レンジなどで気軽にできる簡単メニューや野菜を多く摂ることのできるメニューを実践したり, 狭い空間の中でも継続できる軽体操を取り入れるなど被災者の健康づくり増進に寄与することができた。
事業を終了した理由	健康調査や生活調査で把握した健康課題は, 被災地区に限らず全地区に共通した課題が多かったため, 被災者に限定した事業ではなく, 各種保健事業にて広く住民の健康づくり対策を実施することにしたため。

【取組事業11】

事業主体:名取市

事業名	事業名:被災者食生活支援事業・健康な食事を通した絆づくり事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	食をとおした健康づくりの啓発, コミュニティ形成支援
事業概要	応急仮設住宅等での食生活の悪化等を予防し, 栄養バランスの取れた食生活を推進するため, 栄養相談会や個別相談等を実施する。また, 取組をとおして地域住民のコミュニティ等の形成を行う。
実施年度	平成28年度 ~平成30年度
対象者	プレハブ仮設, 災害公営住宅入居者
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="radio"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 食生活改善推進員, 民生委員 )
工夫したところ	事前に棟長やサロンのスタッフに説明に行き, アイデアをもらった。「まちの保健室」と同日で実施することで, 両方の事業に参加してもらうなどした。民生委員に参加してもらい情報交換を行った。訪問看護財団には, 参加しない方へ個別訪問を行ってもらった。
事業の効果	参加者の多くが降圧剤を内服し, 高血圧で治療をしている人が多かった。参加者からは「薄味を心がけた」「3食食べるようになった」「食べ過ぎなくなった」等の感想があげられ, 塩分や食べる量を意識するようになった方も増えたと考えられる。
事業を終了した理由	まちの保健室に, 管理栄養士が参画し, 食生活支援を行っていく。

## 2 運動

### 【取組事業 12】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:運動普及リーダー育成事業「スクエアステップ事業」 ( )新規事業 ・ ( ○ )既存事業の活用
目的	健康増進計画に基づいて、意識的に身体を動かす人を増やすことを目的にし、市民が健康を自ら保てるような取組が主体的に実施されるよう、運動を通じた健康づくり、生活習慣病や生活不活発発病予防に関する啓発・普及を行う。また教室を通して参加者同士のコミュニティを深める。
事業概要	運動普及リーダー育成のために研修会を実施。地域の集会所等を利用してリーダーを中心に運動普及のための教室を開催する。ダンベル体操、ストレッチ体操、スクエアステップ、リズムダンスなど。
実施年度	平成23年度から平成27年度
対象者	仮設住宅入居者及び在宅の被災者ほか
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( ◎ )運動 ( )健康相談 ( )心のケア ( ○ )コミュニティ ( )高齢者 ( )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( ○ )関係団体( 東北福祉大学, 筑波大学 )
工夫したところ	気軽にできる体操やコミュニティづくりを意識した。
事業の効果	スクエアステップ事業については、新しい取り組みであったが関心が強く好評であった。地域の運動普及リーダーと一緒に取り組むことから親近感がわき、地域のコミュニティを深めた。
事業を終了した理由	スクエアステップ事業に関しては宮城県被災者支援事業が終了したため、事業を終了したが、運動普及事業は継続実施し、その中でスクエアステップ事業も継続して普及している。

【取組事業13】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:元気はなまる運動教室 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	身体活動量低下による生活不活発病やエコノミークラス症候群の予防及び被災者がより活動的,健康的に生活を送ること及びコミュニティ形成の支援を図る
事業概要	各仮設住宅等の集会所を利用し,健康運動指導士等の指導と運動普及リーダー等の協力により運動指導を行う。また,取組を通して地域住民のコミュニティ等の形成を行う。
実施年度	平成23年度 ~ 平成27年度
対象者	仮設住宅入居者及び被災地区住民の方で閉じこもりがちで活動量の少ない中高年齢者
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( ◎ )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="radio"/> )その他(生活不活発病予防 )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体(東北大学,せんだんの丘,ダンベルクラブ)
工夫したところ	運動はストレッチ体操,ダンベル体操,スクエアステップ等気軽に楽しく取組めるものにした。地域の運動普及リーダーの協力をもらい交流することでコミュニティを深めた。
事業の効果	仮設住宅に数か所の運動の自主グループが生まれた。
事業を終了した理由	宮城県被災者支援事業が終了し,H28年度からは生活習慣改善事業の運動普及事業に包含した。

【取組事業 14】

事業主体: 亶理町・仙台大学

事業名	事業名:健康づくり茶話会 (○)新規事業 ・ ( )既存事業の活用
目的	生活不活病及び介護予防
事業概要	週 1 回仮設住宅集会所で実施。看護師によるバイタルチェック・健康相談と仙台大学学生等による軽運動を実施。
実施年度	平成23年度 ～ 平成27年度
対象者	応急仮設住宅の入居者
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( ◎ )運動 ( ○ )健康相談 ( ○ )心のケア ( ○ )コミュニティ ( ○ )高齢者 ( ○ )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ○ )市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( ◎ )関係団体( 仙台大学 )
工夫したところ	看護師による健康観察を毎回個別に実施した。曜日を決めて定例とすることで, 参加しやすい工夫をした。
事業の効果	高齢者が集える場となり, バイタルチェックや運動を週 1 回実施することで, 健康意識の向上・心のケア・コミュニティ意識の向上が図られた。
事業を終了した理由	運動支援は仙台大学による支援を受けて実施した。仙台大学の支援が終了した後は, サポートセンター看護師が引き継いだ。

【取組事業 15】

事業主体: 巨理町・運動支援地域サポーター会

事業名	事業名: 健康体操教室 (○)新規事業 ・ ( )既存事業の活用
目的	生活不活病及び介護予防
事業概要	週 1 回仮設住宅集会所で実施。看護師によるバイタルチェック・健康相談と運動支援サポーターによる軽運動を実施。
実施年度	平成23年度 ～ 平成27年度
対象者	応急仮設住宅の入居者
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( ◎ )運動 ( ○ )健康相談 ( )心のケア ( ○ )コミュニティ ( ○ )高齢者 ( ○ )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ○ )市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( ◎ )関係団体( 運動支援地域サポーター会 )
工夫したところ	看護師による健康観察を毎回個別に実施した。曜日を決めて定例とすることで, 参加しやすい工夫をした。
事業の効果	高齢者が集える場となり, バイタルチェックや運動を週 1 回実施することで, 健康意識の向上・心のケア・コミュニティ意識の向上が図られた。
事業を終了した理由	運動支援サポーター会の活動が被災者中心から地域全体の活動となった。その後はサポートセンター看護師が引き継いだ。





【取組事業 17】

事業主体: 亶理町

事業名	事業名: わきあいあい運動教室(運動による絆づくり事業) (○)新規事業 ・ ( )既存事業の活用
目的	・災害公営住宅入居者と周辺住民との交流を深める ・介護予防体操の普及・運動が継続できるように習慣化を図る
事業概要	災害公営住宅の集会所で介護予防教室を月 1 回(4会場)開催する。教室の前に看護師がバイタルチェックを行う。運動インストラクターが指導を行い、運動後は参加者同士での茶話会を行う。
実施年度	平成27年度 ~ 内容が運動教室のみとなり事業名も変更したが、現在も継続中
対象者	災害公営住宅の入居者と周辺に居住する住民
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( ◎ )運動 ( ○ )健康相談 ( )心のケア ( ○ )コミュニティ ( ◎ )高齢者 ( ○ )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ○ )市町村 ( ○ )県保健所 ( ◎ )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( )関係団体( )
工夫したところ	災害公営住宅入居者へのポスティングや近隣地区への回覧板で運動教室のチラシを配り、参加を促した。事前申し込み不要、年齢制限も設けなかったため、ふらりと集会所をのぞいてみた住民に見学を勧め、気軽に参加できるようにした。また、どの会場に来てもよいとしていたため、複数の会場に参加して体操する方も多く見られた。
事業の効果	仲よしグループができてきて、運転できる人が友人宅を回って教室に参加していた。友人が公営住宅から出て地区に戻ったとしても、友人が迎えに来てくれるので継続して参加できる方もいた。 運動インストラクターが変更になる際、自分達でその運動インストラクターを講師に招いて運動を続けたいという動きがあり、H29年度から自主グループが1か所できた。現在も継続中である。

【取組事業 18】

事業主体:岩沼市

事業名	事業名:ノルディックウォーキング体験会 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	生活不活発病予防と地区住民同士の交流のきっかけにすること
事業概要	ノルディックウォーキング体験
実施年度	平成27年度 ～ 平成28年度
対象者	集団移転地区の住民
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( ◎ )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( ○ )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( ○ )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( ○ )関係団体(復興支援センタースマイル・NPO 法人日本ノルディックフィットネス協会・ノルディックウォークいわぬま)
工夫したところ	参加者同士の交流が図りやすいように, 市民団体(ノルディックウォーキングの会)に協力を得た。
事業の効果	外に出ること, 運動のきっかけづくりになった。健康管理の意識付けにつながった。
事業を終了した理由	スマイルサポートセンターや地域包括支援センター等の関係機関での活動に移行したため。単発の事業であったため。

【取組事業 19】

事業主体:名取市

事業名	事業名:運動を通した絆づくり事業(よってけさいん体操教室) ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	健康寿命の延伸と被災地区のネットワーク構築
事業概要	区長や民生委員, 老人会会長, 公民館, 包括支援センターや社協が実行委員会のメンバーとなり, 住民と行政が協同して運動を通した事業を実施。
実施年度	平成27年度～28年度
対象者	40歳以上の被災地区住民
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input checked="" type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="radio"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 区長, 民生委員, 公民館 )
工夫したところ	民生委員や自治会長から対象者に声をかけてもらい, 事業にも一緒に参加してもらって, 地区の交流につなげた。また, 保健所から事業内で講話を実施する際に, 県内で活動実績のある団体や講師の紹介をもらった。
事業の効果	①休憩時など, 地区を超えた参加者の交流ができた。 ②日常的に運動を意識した生活を送るようになった。 ③住民と行政が協働し, 地区の健康と今後を考える機会となった。 H27年度:12回/年 実人数39名, 延 167名(60歳代～84歳) H28年度:20回/年 実人数54名, 延 168名
事業を終了した理由	自主グループ化した。

【取組事業20】

事業主体:塩竈市

事業名	事業名:運動による絆づくり事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	運動をととした健康づくりの啓発, コミュニティ形成支援
事業概要	応急仮設住宅等の入居者に対し, 震災による生活環境の変化に伴う健康問題の発生やソーシャルキャピタルの弱体化を踏まえ, 運動を推進と, 地域住民のコミュニティ等の形成を行う。
実施年度	平成27年度 ~ 平成29年度
対象者	災害公営住宅入居者
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input checked="" type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="radio"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 健康推進員 )
工夫したところ	健康推進員から対象者に声をかけてもらい, 事業にも一緒に参加してもらい, 地区や住宅内での交流につなげた。
事業の効果	健康推進員を中心とし, 周囲の反応をみながら声かけをしている姿があり, 終始和気あいあいとした雰囲気, コミュニティ形成の一助となった。
事業を終了した理由	自主グループ化し, 運営するため。

【取組事業21】

事業主体:七ヶ浜町

事業名	事業名:平成28年度 運動による絆づくり事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	運動を通して,新たに災害公営住宅に入居した住民と周辺の地域住民との交流を図る。
事業概要	松ヶ浜地区公営住宅入居者と地域住民との交流の場として,地区避難所を会場に公営住宅入居者を中心とした運動教室を実施し交流を図った。
実施年度	平成28年度
対象者	松ヶ浜地区住民(災害公営住宅入居者と周辺住民)
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input checked="" type="radio"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="radio"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 松ヶ浜地区区長 )
工夫したところ	毎回教室が始まる前に,保健師が公営住宅の住民に参加声掛けを行ない,関係づくりと健康見守りを行った。 全10回のうち頻回に席替えを行い,名前で声かけを行い,参加者同士で話ができるように工夫した。
事業の効果	回を重ねるごとに参加者が増え,にぎやかな集まりとなった。 災害公営住宅入居者と地域の人のお茶会サロンもNPO 団体の協力で開始され,さらに交流が盛んになった。
事業を終了した理由	教室を通して地域の住民と顔なじみとなり,お茶会サロンの他,介護予防教室でも交流が行われるようになったため。

### 3 健康相談

#### 【取組事業22】

事業主体:名取市

事業名	事業名:歯科健康教育 わっはっは ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	歯と口腔の機能向上と歯科をとおした心身の健康増進について普及啓発を図る
事業概要	被災者への歯科健康講話, 口腔衛生指導
実施年度	平成23年度 ~ 令和元年度
対象者	市内の被災者
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( ◎ )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( ◎ )関係団体( 名取市歯科保健事業所 )
工夫したところ	
事業の効果	プレハブ仮設住宅や被災者サロン等すべての会場に, 月2~4回の回数で, 多数の被災者へ健康講話を通して関わり, 歯科に関する知識や技術を伝えることができた。
事業を終了した理由	被災者に限らず, 一般市民と同様の業務に移行した。

【取組事業23】

事業主体:南三陸町

事業名	事業名:仮設住宅や復興住宅等での健康相談会 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	心と体の健康の保持増進
事業概要	仮設住宅や復興住宅の集会所等で、保健師・栄養士による健康相談会を実施した。
実施年度	平成23年度 ~ 令和元年度
対象者	仮設住宅や復興住宅の居住者
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="radio"/> )運動 ( <input checked="" type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="checkbox"/> )関係団体( <input type="checkbox"/> )
工夫したところ	実施地区を選定する際、健康調査で課題が見える地域に優先的に実施した。 地域住民にお世話役をお願いし、いずれ、住民主導で集まれるような働きかけを行った。
事業の効果	心と体の健康増進につながった。また、地域住民が集会所等に集まる機会の提供となった。地域づくりの一端を担ったと考える。
事業を終了した理由	復興住宅以外の被災していない地域などにも保健事業を展開していく必要があったため、復興住宅への入居や自宅再建等、新しい住まいでの生活が、ある程度把握され、安定したと思われるタイミングで、終了とした。



【取組事業24】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:仮設住宅等における歯科相談事業(お口の健康相談会) ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	歯科口腔保健指導や歯科口腔相談を実施することにより、口腔清掃の啓発を図るとともに口腔機能の低下を予防し、高齢者の誤嚥性肺炎の発症を予防する。
事業概要	仮設住宅の集会場等を利用し、歯科医師、歯科衛生士による歯科健康教育・健康相談実施。歯科医師による歯と口腔セミナー
実施年度	平成23年度 ~ 平成27年度
対象者	仮設住宅住民や障害福祉サービス事業所利用者等
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input checked="" type="radio"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 宮城県歯科医師会, 石巻歯科医師会, 宮城県歯科衛生士会 障害福祉サービス事業所 )
工夫したところ	歯や口の相談だけでなく、参加者同士の交流の場としてコミュニティづくりを兼ねた。
事業の効果	口腔チェックを兼ねていたのので、歯科健診を受けるきっかけになった。個々に合った口腔ケア指導を受けることができ、好評だった。
事業を終了した理由	宮城県被災者支援事業が終了したため。平成28年度からは、市歯科衛生士が出前講座等で対応している。また、障害福祉サービス事業所利用者の歯科相談は市単独事業で「障がい児・者歯科健康診査事業」に移行。

【取組事業25】

事業主体：石巻市

事業名	事業名：石巻まちの保健室 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	健康の悪化予防及び自立した健康的な生活への一助
事業概要	看護職による健康相談，血圧測定などの健康チェック，健康相談を実施。継続相談者には健康手帳の配布。人の集まりやすい街中の商業施設等を会場とする。傾聴することでこころのケアとなっている。
実施年度	平成24年度 ～ 現在も継続中
対象者	市民(市民は何らかの被災を受けていると考えている)
分類	※複数該当する場合は，主として該当するものに「◎(二重丸)」，その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( ◎ )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="radio"/> )その他( 孤立防止，交流の場 )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」，連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 宮城県看護協会 )
工夫したところ	街中の人が集まりやすい，買い物ついでに気軽に立ち寄れるような商業施設等を会場にした。
事業の効果	買い物ついでに立ち寄れるということで大変好評であった。健康への関心を高める機会となり，継続利用することで自らの健康チェックができています。

【取組事業26】

事業主体:名取市

事業名	事業名:まちの保健室 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	被災者の健康状態の悪化を防ぐ,生活不活発病,生活習慣病の予防・重症化予防のため,住民自ら健康管理ができるようになる
事業概要	健康チェック(血圧,血管年齢,上腕・ふくらはぎ,体重体組成)簡易栄養状態評価表を活用した栄養や運動も含めた健康相談指導の実施。 参加者同士の交流や歌・体操を交えた集団指導,健康教育の実施。
実施年度	平成28年度 ~ 令和2年度
対象者	防災集団移転,復興公営住宅入居者
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="radio"/> )運動 ( <input checked="" type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input checked="" type="radio"/> )関係団体(日本訪問看護財団 )
工夫したところ	集合住宅は高齢者が多く,会場まで来れない方は,民生委員と日本訪問看護財団の看護師が個別訪問を行った。
事業の効果	事業に参加することで,地域とのつながりを持っている方が多い。通院の必要な方は継続して通院ができており,健康手帳に測定結果を記入することで,自身のセルフケアチェック能力が向上している。
事業を終了した理由	一般市民と同様の通常支援として切り替える。

## 4 心のケア

### 【取組事業27】

事業主体：石巻市

事業名	事業名：心のサポート事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	震災後に多く発症するといわれている、不安、うつ病、孤独死、自死などを未然に防ぐため、心のケア事業を実施し、長期的に精神保健の包括的なサポートを行う。
事業概要	一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎに業務委託し実施。 ・心の相談(面接・訪問・電話等) ・心のケア講演会・研修会の開催 ・心のケアを通じたコミュニティづくり ・生活支援 他
実施年度	平成23年度 ～ 現在も継続中
対象者	市民
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input checked="" type="radio"/> )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ )
工夫したところ	心のケア専門職が365日いつでも相談可能な手厚いサポート体制としている。
事業の効果	心のケア専門職が訪問、面接、電話相談等で365日体制で対応できた。また、地域においてイベントを実施したりアルコールの問題を抱える方を対象に勉強会やサロンを開催するなど被災者の心のケアの強化と孤立防止が図られた。

【取組事業28】

事業主体：石巻市

事業名	事業名：こころのケアミーティング ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	被災後重要視される市民の心のケア推進のため、各関係機関との情報交換を行い、情報の共有と連携強化を図る。
事業概要	定期的にミーティングを開催し、情報交換、事例検討等を通し、心のケアの在り方について検討を行う。
実施年度	平成23年度 ～ 現在も継続中
対象者	心のケアに関する支援関係団体
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( ◎ )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="radio"/> )県保健所 ( <input type="radio"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="radio"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( みやぎ心のケアセンター・障害者相談支援事業所, NPO 団体 他 )
工夫したところ	事例検討を通してグループワークをし、顔の見える関係が作りやすいよう工夫した。
事業の効果	参集機関が徐々に広がり、お互いの機関の活動状況や持っている強みなどを理解することができた。

【取組事業29】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:傾聴カフェ事業 ( )新規事業・( <input checked="" type="radio"/> )既存事業の活用
目的	震災後の心のケア事業の一環として、市民による傾聴ボランティア活動をとおして、地域の絆づくりの一助となるよう心と命を大切にする場を提供する
事業概要	傾聴ボランティア養成講座修了生より、傾聴を通して心と命を大切にしたいという心と命を大切にした心と命を大切にする場を提供したいという提案を受け、仮設集会所で仮設カフェを開催し、誰でも気軽に立ち寄れる場の提供をする。
実施年度	平成23年度～現在も継続中
対象者	市民一般
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( )運動 ( )健康相談 (◎)心のケア ( <input checked="" type="radio"/> )コミュニティ ( )高齢者 ( )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( ◎ )関係団体(傾聴ボランティア)
工夫したところ	専門的な相談が必要な時は保健師が相談にのる体制を整えた。また、精神科医師からボランティアをするうえでの心の持ちようなど助言をもらった。 毎年傾聴ボランティアの育成講座や、スキルアップ研修を行った。
事業の効果	傾聴ボランティアは、被災者として同じ目線や気持ちのため共感でき、参加者にとっては敷居が低く気軽に参加しやすい場所となっていた。仮設入居者にとっては重要なコミュニティ作りの場になっていた。

【取組事業30】

事業主体:南三陸町

事業名	事業名:こころの健康相談・もの忘れ相談 ( )新規事業 ・ ( ○ )既存事業の活用
目的	心と体の不調や認知症等への早期対応, 自殺予防
事業概要	2 か月に 1 回, 精神科医師による個別相談を実施。家族や本人の精神症状への対応や医療の必要性の相談等を行う。
実施年度	震災前から現在も継続中
対象者	全町民
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( )運動 ( )健康相談 ( ◎ )心のケア ( )コミュニティ ( ◎ )高齢者 ( )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( ○ )医療機関 ( ○ )関係団体( 精神保健福祉協会 )
工夫したところ	広報紙や無線放送等の活用や保健福祉推進員等への周知等により周知の強化を図った。
事業の効果	相談することによる心の負担の軽減や, その後の継続したケアにつながった。

【取組事業31】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:震災こころのケア事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	心のケアチームによる専門的なケアを受けることで、被災者の心の安定を図る。
事業概要	避難所等での生活におけるストレス反応に対し、適切に精神医療につなぐとともに、傾聴を軸としたアウトリーチ型の支援を行った
実施年度	平成23年度 3月から11月まで
対象者	健康調査により、心のケアが必要とされる方
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input checked="" type="radio"/> )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="radio"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体(心のケアチーム, 他県・県外他市の支援チーム )
工夫したところ	多くの支援団体があったため、地元保健師はコーディネートに徹した。
事業の効果	精神医療の緊急度の高い人への対応や精神保健の専門家による適切な支援ができた。
事業を終了した理由	災害救助法の適応終了による。新たに心のサポート事業としての展開を図った。



【取組事業32】

事業主体:名取市

事業名	事業名:被災者こころの健康づくり事業(アウトリーチ型) ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	被災者の孤立予防・孤独死の予防
事業概要	健康調査の結果や関係者の情報交換会等で把握した支援の必要な被災者に対し,精神保健福祉士が継続的な個別訪問によるこころのケアを行う。
実施年度	平成24年度 ~ 令和2年度
対象者	健康調査や情報交換会で支援が必要な被災者
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( ◎ )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( ◎ )関係団体( NPO 法人 想思 )
工夫したところ	必要に応じて,関係機関と同行訪問するなど連携してサービス等につなげた。
事業の効果	訪問を主体として行うアウトリーチ型相談支援のため,継続的で丁寧な関わりが必要な方に効果があった。
事業を終了した理由	被災者に限らず,一般市民へ対象を拡大した。

【取組事業33】

事業主体：気仙沼市・心のケアセンター気仙沼地域センター

事業名	事業名：心カフェ(ココカフェ) ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	被災者同士の交流と外出の機会を図るとともに、心の健康保持増進のセルフケアを学ぶ機会を提供する。
事業概要	ハンドマッサージや深呼吸のほか、リラックス方法の講話と実技、お茶を飲みながらの交流を通して、こころの健康の回復を高める。
実施年度	平成24年度 ～ 令和元年度
対象者	主に民間賃貸住宅入居者
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( ◎ )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="radio"/> )医療機関 ( ◎ )関係団体( <input type="checkbox"/> 心のケアセンター気仙沼地域センター )
工夫したところ	講話と実技をメニュー化し繰り返すことで、被災者自身が心の健康につながることを意識した。被災者同士が語り合える時間(交流)を作り、スタッフは傾聴するとともに、メンタル的に不安定な方等は個別対応を行った。
事業の効果	被災者同士の交流を通して、震災のことも含め安心して語れることやセルフケアを学ぶことにより、心の健康の回復へつながった。また、心カフェを参考に、地域でのお茶会を開催するなど、地域とのつながりへ広がった。
事業を終了した理由	民間賃貸住宅等の入居から、次の生活の場(自主再建や災害公営住宅)への転居を終えたことから、次のつながりが持てるよう地域の場の提供等を行い、事業を終了(閉店)した。

【取組事業34】

事業主体:大和町

事業名	事業名:被災者健康相談(相談スタッフの派遣) ( <input type="checkbox"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	東日本大震災被災者を対象に個別相談・健康教育を行い,メンタル,健康の両面からサポートをするもの。あわせて,町事業など情報提供を行うもの。
事業概要	大和町ボランティア友の会主催の被災者交流サロンの場面を活用し健康相談や,町保健事業の情報提供を行う。
実施年度	平成24年度 ~ 平成29年度
対象者	東日本大震災により大和町へ避難または移住された方
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( ◎ )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="checkbox"/> )関係団体( )
工夫したところ	交流場面に加えて,個別相談も行ったことでプライバシーに配慮しながら相談対応することが出来た。
事業の効果	個別相談・健康教育を行い,メンタル面,健康面の両面からサポートをすることが出来た。
事業を終了した理由	相談件数の減少がみられたこと,サロン開催も終了となったこと。

【取組事業35】

事業主体: 亶理町・みやぎ心のケアセンター

事業名	事業名: 健康調査・心のケア・訪問指導事業 ( <input type="radio"/> ) 新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> ) 既存事業の活用
目的	被災者が健康的に自立再建するために、関係機関との連携を取りながら支援していく。 健康調査の結果や訪問状況からみえる被災者の実態や課題を整理し、各関係機関(者)へ伝え、より良い関りができるよう支援する。
事業概要	健康調査を実施し、支援が必要な方を抽出。また、サポートセンター連絡会議において支援が必要な方を抽出し専門職による支援を行う。
実施年度	平成24年度 ～ 平成29年度
対象者	応急仮設住宅・災害公営住宅・民間賃貸仮設住宅・自宅再建者世帯住宅
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> ) 栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> ) 運動 ( <input type="radio"/> ) 健康相談 ( ◎ ) 心のケア ( <input type="radio"/> ) コミュニティ ( <input type="checkbox"/> ) 高齢者 ( <input type="checkbox"/> ) 見守り ( <input type="checkbox"/> ) その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ ) 市町村 ( <input type="radio"/> ) 県保健所 ( <input type="radio"/> ) 地域包括支援センター ( <input type="radio"/> ) 社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> ) 医療機関 ( <input type="radio"/> ) 関係団体( みやぎ心のケアセンター )
工夫したところ	サポートセンターを中心に連絡会議とすり合わせを定期的に行う
事業の効果	継続フォローする中で、傾聴により症状が改善される方がほとんどだった。課題を共有し、メンズクラブの立ち上げをすることができた。
事業を終了した理由	支援が必要な方の抽出が減り、生活相談員の訪問が継続されるため。

【取組事業36】

事業主体:松島町

事業名	事業名:心のケア講演会 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	自分自身の心と体の健康について見つめ直し,心のセルフケアを向上するため
事業概要	講話と実技を通し,セルフケア向上を目指す
実施年度	平成24年度 ~ 平成25年度
対象者	町民
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input checked="" type="radio"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( <input type="checkbox"/> )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="radio"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体(みやぎこころのケアセンター)
工夫したところ	運動を取り入れることで,心と体の状態を自分自身で把握し,対処する方法として実施したところ
事業の効果	二年間で約60人の町民が参加し,自分を見直し,リラックスする事ができた。との声が聞かれた。
事業を終了した理由	平成25年度より開始した,こころの健康サポーター養成講座に統合したため。

【取組事業37】

事業主体:松島町

事業名	事業名:こころの健康サポーター養成講座 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	地域の中で, 地域の心の健康について関心や知識を持った支援者を養成するため
事業概要	精神科医, 精神保健福祉士, 保健師など専門職よりメンタルヘルスの基礎知識や傾聴の技術, 自分自身のセルフケアを学び, 地域の支援者を養成する。
実施年度	平成25年度 ~ 現在も継続中
対象者	町民
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input checked="" type="radio"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="radio"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="radio"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( みやぎこころのケアセンター )
工夫したところ	民生員等地域で活動する町民を中心に参加を促した
事業の効果	令和3年まで, 計 128人の町民にこころの健康サポーターを養成した。

【取組事業38】

事業主体：塩竈市

事業名	事業名：ほっとサロン ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	大規模な災害の後では、時間の経過とともに様々な心理的な反応が出てくることが知られている。東日本大震災による被災者は、日常生活を取り戻し復興に向かう中で、ストレスから心身に様々な不調をきたしやすい状況にある。 被災者のストレスの軽減を図るとともに、地域の人々が気軽に集う場をつくることにより、近隣の人々とのコミュニケーション機会の確保を図る。
事業概要	茶話会、保健師による相談、ストレスチェックの実施、軽運動やリラックス等の体験を通し、被災者のストレスの軽減を図るとともに、地域の人々が気軽に集う場をつくることにより、近隣の人々とのコミュニケーション機会の確保を図る。
実施年度	平成25年度 ～ 令和元年度
対象者	被災地域住民
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( ◎ )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 健康推進員 )
工夫したところ	定例活動のない地区を中心に健康推進員と連携を図った。
事業の効果	ストレスチェック票を用いて、ストレスケアについての情報提供を実施した。ほっとサロンをきっかけに定期的な活動を開始した地域有り。
事業を終了した理由	通常事業(健康づくり推進事業(地区健康教室等))で対応するため。

【取組事業39】

事業主体:南三陸町

事業名	事業名:アルコールについての啓発事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	適正飲酒やアルコールに関する正しい情報の提供
事業概要	仮設住宅や災害復興住宅の集会所等における健康教室
実施年度	平成26年度 ~ 令和2年度
対象者	地区集会所等
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( ◎ )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="radio"/> )その他( 飲酒・アルコールについての正しい情報の啓発 )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="radio"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( みやぎ心のケアセンター )
工夫したところ	開始当初は紙の資料を使用して行っていたが、平成28年度からは、みやぎ心のケアセンターが作成した手づくりの紙芝居を使用して実施した。 紙芝居を用いることにより、聞く人の抵抗感を和らげることができた。地域の実情を取り込んだ内容となっているため、身近で分かりやすい内容となった。
事業の効果	適正飲酒やアルコールに関する正しい情報の啓発ができた。
事業を終了した理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施することが難しくなった。





【取組事業41】

事業主体:女川町

事業名	事業名:心の復興事業 (○)新規事業・( )既存事業の活用
目的	安全で暮らしやすい場所での生活再建を最優先した住環境の整備も進み,こどもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるための『心身ともに健康なまちづくり』を推進し,施設や構造物の復興だけでなく町の発展を支えるためのこころ豊かな人づくりを目指す。
事業概要	いきがいやつながりの喪失等により疲弊している町民に対し,精神保健福祉士,臨床心理士等こころのケア専門者が,寄り添い,傾聴活動を通して日常生活上の相談対応を行い,町民被災者の生活を支援する。
実施年度	平成23年度から平成30年度
対象者	仮設住宅,民間賃貸,災害公営住宅にお住まいの方
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( )運動 (○)健康相談 (◎)心のケア ( )コミュニティ ( )高齢者 ( )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 (◎)市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 (○)関係団体(  )からころステーション
工夫したところ	生きがいやつながりの喪失等により疲弊している町民に対し,精神保健福祉士,臨床心理士等こころのケア専門者が,家庭訪問等を行い,その中で寄り添い,傾聴活動を通して日常生活上の相談対応を行いながら,町民被災者の生活を支援した。
事業の効果	被災が原因で家族を亡くし孤独になり,アルコールに依存してしまった方が多くおられ,心のケアの専門家が親身になり相談に応じた。その中には,専門病院へつないだケースや本人以外の家族支援を行ったケースもあった。 専門病院につないだことで,本人の命を守る結果となり,どうしてよいか対応に困っていた家族の心の大きな支えとなった。家族の精神不安の軽減にもつながった。
事業を終了した理由	震災前の状況に保健事業を徐々に戻していくため,町の保健師が対応することとした。

## 5 コミュニティ

### 【取組事業42】

事業主体:富谷市

事業名	事業名:あったか富谷 ( )新規事業 ・ ( ○ )既存事業の活用
目的	東日本大震災における避難者・転入者の情報交換や仲間づくりの推進
事業概要	本市への避難者, 転入者を対象に座談会や調理実習, 季節の行事等を実施
実施年度	平成24年度 ~ 令和元年度
対象者	東日本大震災 避難者・転入者
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( )運動 ( )健康相談 ( ○ )心のケア ( ◎ )コミュニティ ( )高齢者 ( )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ○ )市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( ◎ )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( )関係団体( )
工夫したところ	健康調査や転入手続き等で本事業について紹介, ちらしの配布
事業の効果	避難された方が集うことにより, ピアサポートや本市で生活する上での情報を交換・収集する機会となった。
事業を終了した理由	市社会福祉協議会にて支援しているボランティア団体の解散に伴い終了となった。そのまま本市に移り住み, 10年以上が経過してコミュニティになじめたため。また, 近年では新型コロナウイルスの影響もあり, 交流会自体の設定が困難ではあった。

【取組事業43】

事業主体: 仙台市青葉区宮城総合支所

事業名	事業名:ほっこり健康教室 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="radio"/> )既存事業の活用
目的	様々な地域から宮城総合支所管内に避難している被災者が集まる機会の創出。
事業概要	栄養, 運動, 心の健康をテーマにした教室を設けて実施をしていた。さらに, 高齢独居者などから運動する機会が少ないという声があり, 教室で体力測定, 健康講話, 軽運動を実施した。
実施年度	平成24年度 ~ 令和元年度
対象者	宮城総合支所管内の被災者
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( ◎ )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り ( <input type="radio"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( )県保健所 ( )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( )関係団体( )
工夫したところ	運動や講話だけでなく, 被災体験を語れる場とした。
事業の効果	教室に参加することで, 自身の健康を見直す場としていた。避難し地域から疎外感を感じている方にとって, 安心して話ができる場となった。
事業を終了した理由	コミュニティが形成されていき, 自治会主催の活動へと発展しており, 市は後方支援として活動を見守っている。

【取組事業44】

事業主体：巨理町・みやぎ心のケアセンター

事業名	事業名：メンズクラブ ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	一人暮らし男性世帯では、コミュニティに馴染めず孤立化傾向にあることから、グループで「健康と自立を考える」健康教育を実施することにより、健康的な生活を営めるよう支援、孤独死等を予防する。
事業概要	一人暮らしの男性世帯の健康状態を訪問等により把握し、月1回の食生活・運動・睡眠等をテーマとする健康教室に参加をしてもらうことにより、交流を持ちながら健康について考えてるきっかけとする。
実施年度	平成28年度 ～ 平成30年度
対象者	災害公営住宅に入居する男性独居世帯
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input checked="" type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input checked="" type="radio"/> )関係団体(みやぎ心のケアセンター )
工夫したところ	健康教育には栄養士・保健師・心理士などの専門職による講話を行い、実践をとおして交流をするきっかけを作った。
事業の効果	男性だけの交流の場とし、引きこもりがちだった男性が前向きにな気持ちになり、その後も付き合いが続いた。
事業を終了した理由	人数が固定化し、生活支援員による支援を受け入れられるようになった。終了後は生活支援員による声かけが継続された。

【取組事業45】

事業主体：仙台市泉区保健福祉センター

事業名	事業名：男の手習い教室 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	復興公営住宅に入居している男性の孤立予防
事業概要	復興公営住宅に入居している男性を対象とした交流を目的とした「男の手習い教室」としてそば打ち教室と料理教室を開催。開催にあたり、地域包括支援センターと協力してチラシを全戸訪問し配布した。
実施年度	平成30年度 ～ 継続中
対象者	復興公営住宅に入居している男性
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」，その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="radio"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input checked="" type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input type="checkbox"/> )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」，連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="radio"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体( 町内会, 特別養護老人ホーム )
工夫したところ	復興公営住宅がある地域に関わる福祉関係者と定期的に連絡会を開催。当事業は連絡会の有志とともに開催し、復興公営住宅と地域がつながるよう心掛けた。
事業の効果	これまでの交流会は女性が多かったが、当教室を継続開催することで男性参加が増加し、町内会役員とも交流する機会となっている。

## 6 高齢者

### 【取組事業46】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:はつらつ元気教室 ( )新規事業・( O )既存事業の活用
目的	個人の健康・体力づくりだけでなく、参加者同士の仲間づくり・地域づくりに発展する内容及び相談等で介護予防に努める。
事業概要	地域の集会所を利用し、1コース数回の教室を実施する。 専門職による血圧測定・栄養指導・運動指導等および健診受診勧奨等を実施する。
実施年度	平成23年度～現在も継続中
対象者	概ね65歳以上の高齢者および通いの場等のリーダー候補
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( O )栄養・食生活 ( O )運動 ( )健康相談 ( )心のケア ( O )コミュニティ ( ◎ )高齢者 ( )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( )県保健所 ( O )地域包括支援センター ( )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( O )関係団体(生活支援コーディネーター, )
工夫したところ	毎回の健康チェックと体操を継続することで参加者の体力維持向上に努めた。終了後も地域で継続していけるよう関係機関との連携と図った。
事業の効果	参加者は自分の健康状態を知り、運動の効果、人との交流の楽しさ等を実感することができた。また継続することで活動量が増え、介護予防につながった。

## 7 見守り

### 【取組事業47】

事業主体: 巨理町

事業名	事業名: 地域コミュニティ活動を活用した被災者生活支援事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	・地域コミュニティの構築をすすめ、被災者の孤立化を防止する ・被災者個々が抱える問題解決を支援し、生活再建を後押しする。
事業概要	復興支援コーディネーターや生活支援相談員が被災者の家庭訪問や面談を行う。地区サロンの立ち上げ支援や、コミュニティサロンの開催。定期的に「安否確認すり合わせ」を開催し、生活支援員等の他、心のケアセンター職員や地域包括支援センター職員、看護師等の関係者が集まって、訪問して気になったケースについての情報共有や支援の方向性を話し合った。
実施年度	平成23年度 ～ 令和2年度
対象者	被災者全般
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="radio"/> )高齢者 ( <input checked="" type="radio"/> )見守り ( <input type="radio"/> )その他(被災者からの相談を関係機関につなげるパイプ役 )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="radio"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="checkbox"/> )関係団体( <input type="checkbox"/> )
工夫したところ	定期的にカンファレンスを行っていたが、至急対応が必要な場合は、地域包括支援センター職員が調整役となり、関係機関と連携をとって問題解決を図った。被災者が居住する地区の住民となじめるように交流会の開催などを行い、コミュニケーションが図れるように促した。
事業の効果	訪問延べ件数は毎年5000件前後、被災者は生活支援相談員になじみ、気軽に声を掛けられる存在となった。被災者は何か困ったことがあればすぐに相談し、相談員が地域包括支援センター職員等につないで、速やかに問題解決に向けて動くことができた。
事業を終了した理由	震災から長期間経過したため、生活支援相談員による見守りを終了することとなった。事業を終了する2年位前から準備作業を始め、要援護者の洗い出しを行い、関係機関や地区の民生委員へ引継ぎを行った。



【取組事業48】

事業主体: 亶理町

事業名	事業名: サポートセンターの運営 (○)新規事業 ・ ( )既存事業の活用
目的	・被災者の見守り訪問活動の拠点とする。 ・地域コミュニティの構築をすすめ、被災者の孤立化を防止する。 ・被災者の個々が抱える問題解決を支援し、生活再建を後押しする。
事業概要	仮設住宅敷地内にサポートセンターを設置。復興支援コーディネーターや地域包括支援センター職員等が常駐し、被災者が来所した際の相談役となる。看護師や生活支援員の拠点施設であり、家庭訪問や運動教室、サロン活動支援等を実施した。
実施年度	平成24年度 ～ 平成28年度
対象者	被災者全般
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( )栄養・食生活 ( )運動 ( ○ )健康相談 ( ○ )心のケア ( ○ )コミュニティ ( )高齢者 ( ◎ )見守り ( )その他( )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( )県保健所 ( ○ )地域包括支援センター ( ○ )社会福祉協議会 ( )医療機関 ( )関係団体( )
工夫したところ	仮設住宅入所者, 災害公営住宅入居者全世帯に生活調査を実施。また, 職員を常駐することで, いつでも被災者の相談に応じられるようにしていた。
事業の効果	福島県からの避難者を対象にサロンを開催し, 定期的に実施することによって参加者同士交流が深まり, 自主運営ができるまでになった。看護師等が家庭訪問を実施し, 被災者にとっては何かあればいつでも相談できるという安心感につながられた。
事業を終了した理由	災害公営住宅が完成し, 被災者がそちらへ入居。仮設住宅とともにサポートセンターも撤去となったため。

## 8 その他

### 【取組事業49】

事業主体:名取市

事業名	事業名:プレハブ仮設住宅健康支援事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	応急仮設住宅入居者の健康管理
事業概要	仮設住宅の8か所に対し,日本訪問看護振興財団に委託し,訪問調査から個別訪問を実施。 生活支援相談員,地域包括支援センター,保健センター,日本訪問看護財団の4者で月1回情報交換会を実施し問題へ対応を検討し,連携が取りながら実施
実施年度	平成23年度 ~ 平成30年度
対象者	プレハブ仮設入居者
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="radio"/> )見守り (◎)その他( <input type="checkbox"/> 日本訪問看護財団 )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 (○)市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 (○)地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( ◎ )関係団体( <input type="checkbox"/> 日本訪問看護財団 )
工夫したところ	情報交換会やケース検討等を実施し,多機関が協働した支援をした。 高齢者の割合が高くなっていることから,介護保険等の通常の在宅支援につながったケースは見守りと連携に切り替え,生活習慣病や生活不活発病の重症化予防のための生活指導を重点に看護師の訪問・相談を実施した
事業の効果	日本訪問看護振興財団の健康管理を受け,月1回の情報交換会に心のケアセンター,生活再建支援課も参画し,ケース検討や記録の改善等を実施し課題解決に向けた協力体制が強化された。
事業を終了した理由	一般市民と同様の通常支援として切り替える。

【取組事業50】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:アルコール関連問題相談事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	震災後,アルコール関連問題が増加し対応に苦慮している状況である。問題を抱える本人及び家族に対して,専門相談を通してアルコールに対する理解を深め,早期受診や問題解決の支援を行う。
事業概要	日本ASW協会による家庭訪問,相談,事例検討,ケア会議での助言,健康教育を行う
実施年度	平成23年度 ~ 平成27年度
対象者	アルコール関連問題のある方及び困っている方,及びその支援者
分類	※複数該当する場合は,主として該当するものに「◎(二重丸)」,その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input checked="" type="radio"/> )健康相談 ( <input checked="" type="radio"/> )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り (◎)その他( アルコール )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」,連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input checked="" type="radio"/> )関係団体(日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会)
工夫したところ	アルコール問題のある本人よりも,家族や支援者に対する相談を主とした。
事業の効果	対応に困っている支援者に対する専門的な助言は,チームで支援をしていくときの方向性を見出すことに役立ち,また支援者自身の精神的なサポートになった。
事業を終了した理由	アルコール関連問題の知識の啓発に取り組むこととし,アルコール問題のある方への支援関係者向けへの研修会へと移行。個別の相談に関しては既存の県の事業を活用することにした。

【取組事業51】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:石巻仮設住宅ゆいっこプロジェクト ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	仮設住宅における生活不活発発病リスク者の検出及び予防活動を通して、仮設住宅におけるコミュニティ形成を図る
事業概要	仮設住宅入居者に深部静脈血栓(DVT)エコー検診を実施し、生活不活発発病リスク者を早期に発見し医師の健康講話、運動教室、リハビリ相談を実施することで病気の予防に努める。また、取組をとおして仮設住宅におけるコミュニティ形成を行う。
実施年度	平成23年度 ～ 平成27年度
対象者	仮設住宅入居者及び在宅被災者 (活動性の低い中高年齢者、失業・休職・独居者を優先する)
分類	※複数該当する場合は、主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="radio"/> )運動 ( <input type="radio"/> )健康相談 ( <input type="radio"/> )心のケア ( <input type="radio"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り (◎)その他(検診 )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( ◎ )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="radio"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="radio"/> )関係団体(石巻赤十字病院, DVT 検診合同チーム, 宮城県作業療法士会 宮城県理学療法士会, 東北福祉大学, 石巻保健所, NPO 法人健康 応援わくわく元気ネット)
工夫したところ	H25年度から仮設住宅以外の被災地区住民も対象に実施。H26年度は DVT 陽性率の高い地区限定で実施。食育健康フェスティバルでも実施
事業の効果	DVT 検診によりリスク者を早期発見でき、運動や生活指導をすることで DVT 及び生活不活発発病(廃用性症候群)の悪化予防や、高齢者の介護予防につなげることができた。また、集会所等を利用して集まることで参加者同士の交流ができコミュニティづくりにつながった。
事業を終了した理由	H27年度までは宮城県被災者健康支援事業を活用し、H28年度からは石巻赤十字病院に事業の実施主体が移行したため。(市は後援)

【取組事業52】

事業主体:石巻市

事業名	事業名:被災者特別健診事業 ( <input type="radio"/> )新規事業 ・ ( <input type="checkbox"/> )既存事業の活用
目的	特定健診・保健指導の対象となっていない 18歳以上39歳以下の市民に対し, 基本健康診査及び詳細健康審査を実施することにより, 東日本大震災後の生活環境等の変化等による健康状態の悪化を早期に発見・予防し市民の健康的な生活の実現を図る。
事業概要	基本健康診査として, 診察, 脂質検査, 肝機能検査, 糖代謝, 検尿を行う。 詳細健康審査として, 心電図, 貧血検査, 眼底検査, クレアチニン検査, その他必要とする検査を行う。
実施年度	平成24年度 ~ 平成27年度
対象者	18歳から39歳までの一般住民
分類	※複数該当する場合は, 主として該当するものに「◎(二重丸)」, その他該当する項目に「○」をつけてください。 ( <input type="checkbox"/> )栄養・食生活 ( <input type="checkbox"/> )運動 ( <input type="checkbox"/> )健康相談 ( <input type="checkbox"/> )心のケア ( <input type="checkbox"/> )コミュニティ ( <input type="checkbox"/> )高齢者 ( <input type="checkbox"/> )見守り ( <input checked="" type="radio"/> )その他(健康診査 )
取組団体等	※取組主体に「◎(二重丸)」, 連携して実施した団体等に「○」をつけてください。 ( <input checked="" type="radio"/> )市町村 ( <input type="checkbox"/> )県保健所 ( <input type="checkbox"/> )地域包括支援センター ( <input type="checkbox"/> )社会福祉協議会 ( <input type="checkbox"/> )医療機関 ( <input type="checkbox"/> )関係団体( )
工夫したところ	
事業の効果	(受診者) H24年度 770人, H25年度 530人, 平成26年度 641人, 平成27年度 702人
事業を終了した理由	宮城県被災者支援事業が終了したため